



# 枚方市総合交通計画協議会だより ~VOL.5~

## 総合交通計画協議会とは



本協議会では、都市や地域が抱える多様な交通に関する課題に対応するため、市民をはじめ関係機関・団体等が相互に協力し、交通事業とまちづくりが連携した総合的かつ戦略的な交通施策の推進を図ることを目的とした「枚方市総合交通計画」を策定します。平成 29 年 12 月 27 日（水）に開催した第5回協議会では、枚方市総合交通計画（素案）の内容について議論しました。

## 協議会の開催状況

第1回：平成 28 年 6 月 7 日（火）、第2回：平成 28 年 11 月 22 日（火）  
第3回：平成 29 年 3 月 22 日（水）、第4回：平成 29 年 8 月 8 日（火）

## ◆当日の流れ

1. 開会
2. 枚方市総合交通計画の策定について
  - 1) 枚方市総合交通計画の素案について
3. 質疑応答
4. その他

## ◆主な議事内容

### 1) 枚方市総合交通計画の素案について

第4回協議会での議論をふまえ、枚方市総合交通計画（以下、本文では計画と表記）の素案を提示しました。

前回の協議会では、計画の理念や、枚方市における交通の課題等について、多数のご意見があったことを受け、交通の課題については、基本方針を基に再整理を行い、その課題を解消するための施策を、6つの施策パッケージとしてまとめ、その中でも最も優先度が高く、重要性の高い施策を「主要戦略施策」として位置付けを行いました。

計画に記載する事業については、前回の協議会後に、関係する各委員へ個別に協議を行い、計画へ反映しました。

また、計画の理念を効果的に実現し、交通まちづくりを推進していくため、計画全体及び基本方針ごとに指標を設定し、計画へ記載しました。

委員からの主な意見は以下のとおりです

- ・主要戦略施策について、他の施策との重要性や優先度の違いなどの説明が必要。
- ・理念と施策パッケージとのつながりが分かりにく

い。理念を実現するための施策パッケージであるということが、分かりやすく示せると良い。

- ・高齢者の外出支援施策が不十分ではないか。
- ・市の東西交通の強化についての記載が必要。
- ・「交通事業者による車両バリアフリー化の推進」について、車両だけでなく、駅施設等についても記載してはどうか。
- ・実施プログラムに記載されている実施時期の意味が分かりにくい。
- ・評価指標の「駅利用者の市域人口に対する割合」は、施策との因果関係が薄いのではないか。
- ・読み手に分かりやすい構成や表現など、計画のまとめ方について再度検討する必要がある。
- ・理念の「不便を分かち合いながら」を体言するような施策が必要ではないか。

## ●今後のスケジュールについて

当初は、平成 29 年度末の計画策定を予定しておりましたが、今回の協議会での議論をふまえ、計画素案のとりまとめを3月までの今年度いっぱいをかけて行うこととします。その後パブリックコメントを実施し、平成 30 年度中の策定を目指します。

## ～今後のスケジュール～

平成 30 年 6 月 パブリックコメントの実施  
平成 30 年 10 月 答申

## ◆次回開催予定

平成 30 年 8～9 月頃に開催する予定です。



編集・発行：枚方市土木部土木総務課  
TEL 050-7102-6505 FAX 072-841-4605  
E-mail dsoumu@city.hirakata.osaka.jp